

第二次世界大戦が終わって63年余りが過ぎ、人々の心の中には当時の記憶も薄れています。特に戦争を経験しなかった方々が国民の大半を占めるに至り、過去の戦争の恐ろしさや悲しみは遠い過去に消えようとしています。世界では、今もあちこちで戦争による悲劇が起きています。このような過ちを起こさないようにとの願いを込めて私の僅かな体験をお話して平和な世の中を築く一助となればと思っております。



* 高田町へ疎開したこと、夜間爆撃で空が昼間のように明るくなったこと等、色々な体験談とその時の恐怖感を切々と語っていただきました。

ロータリーは綱領の末尾で『国際間の理解と親善と平和を推進すること』と謳われており、その精神に沿った行動が望まれます。本日の卓話がこの精神にかなった具体的行動の一つになればと願っております。